

編集後記

私は、宇宙空間（地球や惑星の電離圏および磁気圏、惑星間空間）のプラズマにまつわる諸現象の、人工衛星による観測を専門にしています。アウトリーチ活動では、きれいなオーロラの写真や、太陽表面の画像、地球周辺の放射線帯を可視化した絵を見せることが常套手段となっていますが、10年近く前に小中学生を対象にした講演会で話した時には、小学校低学年の子供に、「プラズマってなんですか？」という質問をされ、回答に四苦八苦しました（一緒に講師をされた、ご専門の異なる先生が、即座に電子辞書で調べて「プラズマは血しょうという意味もありますね」と発言され、話をややこしくしておられました）。それからアウトリーチでは、安易には「プラズマ」という言葉を使わないように、どうしても使わなければならない時には、盤石の備えをするように心がけています。盤石と言いましても、水素原子が2つに分かれて、一つは「電気をもった陽

子」、もう一つは「電気をもった電子」という絵を描いたものを準備しておくだけではありますが、これまでのところ一応これで何とかなっています。小学校低学年の子供にプラズマを理解してもらう上手な方法をご存知の方がおられましたら、教えていただければ幸いです。

アウトリーチ活動の場では、「真空では無重力」と思い込んでいる方が多いことに驚かされます。確かに宇宙空間は真空で無重力ですが、その2つにはもちろん直接の因果関係はありません。しかし、例えば鉄の球を入れた密封容器を地上に置き、その容器から空気を排出して中を真空にすれば、鉄球は浮かぶ、と思っている方は意外に多いのです。……という話を、真正の文系（大学院卒）である旧友にしたところ、大真面目に「え？浮かないの？」と返されてしまいました。アウトリーチは、まず身近なところから始める必要があります。

(松岡彩子)

プラズマ・核融合学会役員

会 長	小森 彰夫	副 会 長	永津 雅章 (推薦委員長: 研究助成, 男女共同参画委員長)	吉田 善章 (推薦委員長: 学会賞)
常務理事	室賀 健夫 (総務委員長)			
理 事	浅野 克彦 内野喜一郎 草間 義紀 (広報委員長) 白神 宏之 (支部・地区研究連絡会委員長) 波多野雄治	安藤 晃 小野 靖 久保 博孝 白谷 正治 (研究部会連絡委員長) 福山 淳 (年会運営委員長)	上田 良夫 甲斐 俊也 (財務委員長) 佐々木浩一 (企画委員長) 豊田 浩孝 (編集委員長)	
監 事	市村 真 森田 純子			

プラズマ・核融合学会誌編集委員会

編集委員長・チーフエディタ: 豊田浩孝(名大) 副委員長: 波多野雄治(富山大)

エディタ: 金子俊郎(東北大), 坂本瑞樹(筑波大), 中村祐司(京大), 長友英夫(阪大), 小西哲之(京大) 佐々木浩一(北大)

編集委員: 安堂正己(原子力機構), 石澤明宏(京大), 稲垣 滋(九大), 太田貴之(名城大), 大西直文(東北大), 小田昭紀(千葉工大), 小田卓司(ソウル国立大), 陰山 聡(神戸大), 加道雅孝(原子力機構), 川崎仁晴(佐世保高専), 齋藤和史(宇都宮大), 清水昭博(核融合研), 白石裕之(大同大), 須田善行(豊橋技科大), 高橋俊樹(群馬大), 近田拓未(静岡大), 仲野友英(原子力機構), 沼田龍介(兵庫県立大), 比村治彦(京都工繊大), 松岡彩子(JAXA), 宮澤順一(核融合研), 森 芳孝(光産業創成大学院大), 森本泰臣(日揮), 八木重郎(核融合研), 八柳祐一(静岡大), 山本 聡(京大), 余語覚文(阪大)

乱丁・落丁本は、ご面倒ですが学会編集委員会宛ご送付ください。送料当方負担にてお取り替えいたします。

プラズマ・核融合学会誌第92巻第3号

編集・発行

〒464-0075 名古屋市千種区内山3丁目1-1 4階

一般社団法人 プラズマ・核融合学会 編集委員会

Tel. 052-735-3185 Fax. 052-735-3485

E-mail: plasma@jspf.or.jp URL: <http://www.jspf.or.jp/> 定価1,300円(税別)

印刷 株式会社荒川印刷

2016年(平成28年)3月25日

本誌に掲載された寄稿等の著作権は一般社団法人プラズマ・核融合学会が所有しています。